

## 令和3年死亡災害発生状況(11月末現在)

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	那覇	墜落・転落	クレーン	その他の金属製品製造業	2月下旬	60歳台以上	50～99	天井クレーンの整備及び点検作業において、地上約7mの高さのガーダからコンクリート床に墜落したものの。
2	那覇	墜落・転落	トラック	その他の廃棄物処理業	2月中旬	50歳台	100～299	ごみ収集車の後方右側ステップに乗車していたところ、右折した際にバランスを崩し転落したものの。
3	宮古	激突され	建設用機械等 (掘削用機械)	その他の土木工事業	4月中旬	60歳台以上	1～9	擁壁の石積作業において、被災者が擁壁頂端部より作業箇所の確認作業を行っていたところ、旋回したドラグショベルの後端部に接触し、擁壁から転落したものの。
4	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	5月中旬	10歳台	10～29	建物の基礎型枠解体作業中に体調を崩し、休憩後に救急搬送され、熱中症と診断された。
5	那覇	その他	その他の起因物	社会福祉施設	3月下旬	40歳台	1～9	新型コロナウイルス感染症によるもの。
6	名護	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	港湾荷役業	5月下旬	60歳台以上	1～9	同僚と2名で倉庫の鉄扉を閉めていた際に、扉が倒れ下敷きとなった。
7	那覇	激突	締固め用機械 (ローラー)	その他の建設業	6月下旬	50歳台	10～29	被災者がローラーを運転し締固め作業を行っていた際に、ローラーを後退したところ、切梁が後頭部に激突した。
8	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	7月上旬	50歳台	1～9	建物の基礎のコンクリート打設補助作業後、昼休憩中に体調が悪化して救急搬送され、熱中症と診断された。
9	沖縄	激突され	建築物・構築物	警備業	7月中旬	60歳台以上	100～299	ふ頭のゲートにおいて、門扉中央付近で被災者が倒れているところを発見された。
10	那覇	爆発	炉、窯	クリーニング業	10月中旬	50歳台	50～99	焼却炉内で爆発が発生したことにより、焼却炉の扉が開き、当該扉が被災者に激突した。
11	沖縄	墜落・転落	作業床・歩み板	その他建設業	11月下旬	50歳台	1～9	ヤード内に設置されたパイプ棚の前で被災者が倒れているところを発見された。

※労働者死傷病報告による。統計情報は今後の調査により修正される場合があります。